



学塾通信 12月号（第108回）

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

10月末に、高校受験生の三者面談をさせていただきました。保護者のみなさま、ありがとうございました。大阪には多くの学校がありますが、学習内容や各学校が力を入れていること、一人ひとりの性格や学力・進学後に頑張りたいことなどを考慮すると自然と選ぶ先は絞られてくるように感じています。何より、入学してから伸びる環境かどうかを考えて選択することが大切でしょう。

先日、テスト期間など一時的に学塾を利用している昨年度の卒塾生から手紙をいただきました。紹介します。

塾長へ 自習室を借りさせていただいてありがとうございました！無事欠点無し！全教科が返っててなんと13教科中5教科も100点取りました！世界史と家庭科と数学と概論と基礎看です！
数学は学年で1人だけ100点ですって、めっちゃ頑張りました笑
普通に自分でもびっくりしたけどこれで調子にのらず次のテストもがんばりますので応援よろしくお願います。(原文のまま)

彼女は中学2年生の4月に入塾してくれました。明るく元気な長所は、自主学習においては落ち着きのなさになっていました。周囲の成績が上がっていくのを横目に、受験期に「なんで自分は……」と相談をしてきたこともありました。しかし、ひたむきに頑張りを続けて精神的に厳しい時期を乗り越え、見事志望校に合格し、この春から高校生活を送っています。

高校進学後に教室で話をする様子や自主学習の姿勢を見ていると、入塾時とは比べ物にならないほど高いレベルでの取り組みができるようになっており、私たちも驚いています。そして今回は5教科100点！見事です。

さて、ここで高校受験生にふたつのことを伝えます。

まずは受験合格に向けてです。学校がない土日には少なくとも1日5時間は机に向かって受験勉強に励むこと。難しい問題ではなく、みんなが取れるような問題を確実に正解することを意識して取り組みましょう。

もうひとつは合格通知を得てからが新たなスタートであるということです。先輩の手紙から、入学後もしっかりと学習をする姿勢が大切であることを理解しておいてください。

高校1年生を良い形で過ごすことができれば、その後の高校生活も充実したものになります。



○毎週の宿題対応について

原則、宿題を忘れてきた生徒は授業後に残って宿題をしてから帰るという対応にしています。

最終授業後、宿題ができていない生徒が塾を出るのが 23 時を過ぎることもあります。これは塾生の安全面を考えると好ましくありません。

残って宿題をしなくて良いように計画的に宿題をしてきてください。

○入退室連絡の開始について

入退室連絡を希望される方は教室まで連絡をください。

自習の際も、いつ来ていつ帰ったのかがわかるのが良いという声をいただいています。

○冬期講習会について

冬期個別講習会(非受験生～高校 3 年生)・中学受験特別講座・高校受験直前特訓の案内をお配りしています。高校受験生には塾長講座の際に生徒に内容を説明しています。

非受験生の講座については、冬にコロナの第 6 波が来るということを前提に、例年の半分の席数で準備をしています。密にならないよう生徒ごとの間隔を広げ、2 教室で運営をしても受験生には支障が出ないような対応を行うことを考えての措置です。ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。

今年の中学 1 年生の学力が非常に厳しいものだということは、春からわかっていました。

そのため、4 月から補講をくり返しながらか、少しずつできることを増やしてきました。その成果もあり、2 学期の中間テストの数学ではほとんどの塾生が平均点を越えることができました。

一方、英語はまだまだ定着が不十分です。これまで通り補講等でも対応させていただきますが、冬期講習会にもできる限りご参加いただきたいです。

○傘について

ビニール傘には名前、もしくは目印をつけてください。傘の間違いが無いようにご協力よろしくお願い致します。

☆小学生☆

○G-kids コースの 3 年生について

G-kids コースは小学 1～3 年生までが対象の特別コースとなっています。新年度からは 4 年生となりますので、プレミアムコースか中学受験コースに進んでいただくことになります。

どちらも授業時間がこれまでの 60 分から 75 分と長くなります。

中学受験コースは 2 月、プレミアムコースは 3 月が新年度となります。

○新中学 1 年生について

国私立中学進学者を除き、3 月から全員が高校受験コースへの進級となります。

進学先で部活動をする予定の方は、6 講目・7 講目の授業に移動しておくことをおすすめします。現在も、堀江中のバスケットボール部・吹奏楽部の方の多くが 7 講目に来ています。毎年、仮入部が終わる 5 月から遅い時間帯に変更したいという声をいただきますが、この場合、ふたつご留意いただきたいことがあります。

- ・ ご希望の時間帯に席が無い可能性がある。
- ・ 遅い時間帯(授業終了時刻:21 時 50 分)の生活リズムに合わせるまで時間がかかる。

以上から、新年度が始まる 3 月から 6・7 講目の席を押さえておくことをおすすめします。

☆中学受験生☆

○6 年生

いよいよ、統一日までのカウントダウンが始まります。近年の中学受験を見ていると、初日から 3 日目までで試験を終える生徒がほとんどです。自主学習においては「当日まで何をすれば良いのだろう？」と気になる時期だと思います。

迷ったときは、これまで解いてきた問題集をもう一度解き直すのが良いです。

本番では、解くべき問題を落とさないことが最も重要になります。解くべき問題というのは、これまでやってきた問題集レベルの問題になります。

解くべき問題とそうでない問題の見極めについては、9 月からずっと入試問題をこなしてきているので上手になっています。これまでやってきたことを総チェックする意味で、問題集を解き直してみましょう。

○模擬テストについて

五ツ木の模擬テスト 最終回

11 月 21 日(日)

模試受験後は必ずやり直しをしましょう。

○受験番号の確認について

出願が終わり次第、受験番号の連絡をお願い致します。

○4・5年生

中学受験コースは、中学入試の時期が1月のため、学塾の他コースより早い2月が新年度となります。5年生のみなさんも入試まであと1年2ヵ月です。6年生の9月からはそれぞれの志望校対策ができる進度で考えています。そのため、これまで学んできたことを反復練習するようにしておいてください。新5年生の3教科受験者は算数・算数・国語・理科の週4コマとなります。日時の調整をよろしくお願い致します。

☆中学1・2年生☆

10月末に学塾のマイページより面談の案内を配信させていただきました。私が想定していたより多くの方にお越しいただきました。ありがとうございました。

○テスト前学習会の教材について

次年度以降もテスト前学習会は無料講座として継続していく予定ですが、テスト前学習会に使用するテキストを購入していただくことを考えています。

テスト前学習会の教材作成には4～5時間かかっています。印刷や人件費だけでなく、急な参加・不参加により多くの印刷のロスがあります。(講座後に破棄している用紙の数が100枚単位になります。)SDGsの観点からも、これについては改めるべきだと考えており、次年度はテスト前学習会用・早朝学習会用の教材を購入していただくことを検討しています。新年度までに方針を決め連絡を差し上げます。

○テスト前学習会の遅参について

土曜日・日曜日は13時半～19時までの講座で、原則すべての時間に参加していただくことになっています。(部活動のため遅れる等の理由がある生徒のみ途中参加を認めています。)しかし、部活動が終わっている時間にも関わらず、同じ部活動の生徒でも塾に来る時間にかなり差があります。これでは講座として成り立ちませんので、部活動が終わり次第速やかに教室に来るようにしてください。

☆高校受験生☆

11月の五ツ木模試は一番受験者が多い受験回です。
入試本番に向けてのひとつの指標となるでしょう。

**入学試験の制度を知り
出題される問題、傾向を把握し
入試本番で「解くことができる問題」を確実に解く。**
(合格の可能性を上げる方法)

これからは受験する学校でどのような問題が出題され、入試本番で何点とることが必要なのかを分析していく時期になります。入試を迎えるまでに、入試当日、試験開始の合図が鳴った直後からどのように問題を解いていくのかをイメージできているレベルまで持っていくことが目標です。

定期テストとは違い、入学試験は100点をとることを目標にするテストではありません。合格点を一点でも上回ることが目標です。まずはここの意識転換が必要です。(必ずしも、学校の偏差値＝問題の難易度になっているわけではありません。)私立専願のひとであれば10年分ほど、公立高校を志望するひとでも予想模試を含めて10年分ほど実践演習を行いますので、このなかで取るべき問題を見極めることができるようにしていきましょう。

○入試直前特訓について

入試直前特訓は12月18日(土)が初日です。12時5分開始です。
持ち物は筆記用具のみです。よろしくお願い致します。

冬以降の特別講座は入試直前特訓・英作文対策講座・C問題対策と3つの講座を準備しています。
このなかで優先順位が一番高いのは入試直前特訓です。英作文対策講座・C問題対策は強化したい単元をピンポイントに指導しますので、C問題出題校を受験するひとには受講していただくことをおすすめ致します。学習状況を見てこちらからも提案させていただきます。
不明な点がございましたら、教室までご連絡ください。

○保護者様からの質問にお答えします。

「入試直前特訓のコース変更はできますか？」という質問を毎年受けます。例えば、公立の一般選抜を考えていたが、学校の懇談の後に私立専願になったため、直前特訓を公立の一般選抜ではなく私立にコース変更できるかどうかということです。

➡コース変更は可能です。進路に合わせて対応させていただきますのでご安心ください。

○塾長講座

11月27日(土) 16時20分 ~ 19時

公立高校の過去問を解きます。
塾長講座はラスト2回です。

☆大学受験生☆

合格点をとることを意識した勉強をしていきましょう。時間が足りないというときに、正攻法ですべての問題を解こうとするのではなく、あえて解かない問題を考えるのもひとつの手段です。

過去問を解いた後は合格点との差を確認し、合格点に届いていないのであればどこが正解になれば合格点に達するのかを考えることです。合格点を取ることを考えると、すべての問題を解く必要がないことがわかります。各日程の合格点と自分の点数を確認しながら戦略を立てていきましょう。

私立大学を考えているひとは、1月末から一般入試が続きます。第一志望校のスケジュールを押さえ、それ以外の日程で他の受験できる学校を考えていきましょう。

受験校は本命校・実力相応校・滑り止めという区分で考えてください。チャレンジしすぎる受験校選択ではなく、まずはひとつ合格を取って安心できるようにしておくことをおすすめします。本命校の過去問対策はしっかり取り組んでいると思いますが、それ以外の受験する可能性がある学校についても、数年分は練習しておきたいです。

受験回数が少ない高校受験と違い、大学受験は多くの受験機会があります。そのなかでひとつでも合格通知を得られればよしという気持ちで臨むことです。

塾生募集について

たくさんの方をご紹介いただき、誠にありがとうございます。

お友達紹介キャンペーンを再開します。

紹介された方 入会金無料・紹介者 3000円分のクオカード

【高1~3】	若干名
【高校受験 中3】	募集終了
【高校受験 中2】	募集終了
【高校受験 中1】	5名
【中学受験 小6】	募集終了
【中学受験 小5】	5名
【中学受験 小4】	5名
【非受験 小学生】	5名